第九講　民俗学

柳田国男は日本人の泣き方の変遷を見逃さなかった。『不幸なる芸術』に収録された「涕泣史談」の中で、次のように述べている。

「自分などの見たところでは、人が手放しでワアワア泣くことを、さも悪徳なるかの如く言ひ出したのは、是も亦中世以後の変遷であらうと思つて居る。やたらに泣くことは勿論無反省であり、偉人豪傑は喜怒色に表はれずなどと、この自己検束の普通に超えて居る点を尊敬せられて居たが、しかし彼等とても大きな衝動があれば泣いて居た。まして常人は尚更の事で、現に武家生活を中心とした義太夫の浄瑠璃などを聴いて居ても、たびたび慟哭の声が物語の中にまじつて居て、感動の極まる所はいつも是に帰着することになつて居る。」

　このように柳田は、日本人は昔はよく泣いたという。しかし声を出して泣くことが社会生活上に濫用されるようになったので、それを抑圧する風が起ったのだが、むやみに抑圧せず、濫用だけを防ぐように教育すればよかったと柳田は言っている。ということは現代人が［　X　］という弊害があらわれているからにほかならぬ。そして「その理由又は事情を分析して見ようともせずに、ただ単に慟哭といふ一種の交通方法を遮断したとても、それで世の中が楽しくなつた証拠にはならない」と警告している。

「涕泣史談」では、現代は人間の泣くことが少なくなった時代である。しかし以前はそうではなかった。しかも泣くことはけっして悪徳であるときめつけられなかった、と柳田は言う。「今日の有識人に省みられて居らぬ事実は色々有る中に、特に大切だと思はれる一つは、泣くといふことが一種の表現手段であつたのを、忘れかかつて居るといふことである。」

　柳田は声を出して泣くのと、［　Y　］。そして「生きた人ばかりか、死んだ眼に見えぬ人の霊にまで、やはり心のかなしみの声を、聴かせる必要を昔の人は認めて居たのである」と言い、日本海側の田舎では奥羽から山陰地方まで、盆や彼岸の後先には火を焚いて、

　　ぢい様ばあ様、このあかりでおでやれおでやれ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

と高くかなしい声で叫ぶ習慣のあったことを伝えている。ここにおいて、泣くことが相手に呼びかけるもっとも直接的な表現方法であったことを人々は理解するのである。柳田はここで生者と死者との交流について語っている。死者に呼びかけるにもすすり泣くということではなく、かなしみの声を出さねばならぬことを告げている。私が宮古群島の来間島で見たのは、死者のまわりに家族や親戚の女性たちがあつまって、泣きながら死者へ訴えている光景であった。このように泣き声を問題にとりあげ、それを文明史に解いたものが柳田のほかに誰があっただろうか。

柳田の手にかかると、ありふれた日常生活の事柄がたちまち深遠な問題を孕みはじめる。『食物と心臓』から一つの例をあげてみると、瞼に生じる腫物をどうしてモノモライと呼ぶか。柳田はあれこれと各地の方言を穿鑿して、モノモライという名前の起りは、この疾病を治す手段として、人の家の物を貰って食べる習慣があったためである、と推断している。つまり、平生食を共にしない人々と、一緒に何かを食うという行為には、それを通して大きな力を借りるという意味がこめられてあった、と考えるのである。「即ち多くの人の身のうちに、食物によつて不可分の連鎖を作るといふことが、人間の社交の最も原始的な方法であつたと共に、甲<u>人は是によりて互ひに心丈夫になり</u>、孤立の生活に於ては免れ難い不安を、容易に除き得るといふ自信を得たのである。瞼のできものの治療は甚だ微々たる現象であるが、是に残つて居る思想は重要であつた。ちやうど我々日本人が失ひ又は忘れて、今や何ともいへない寂寥を感じて居るものが、まだ此部面だけには幽かに伝はつて居たのである。それを発見する手段が他にも有ると思ふ者だけが、ただこのフォクロアの学問を侮蔑することが出来る。其他の人々が笑ふのは心得ちがひであろう」と柳田は結んでいる。

声を出して泣くことも、また他人から食物を貰うことも、すべて［　Ｚ　］であって、そうした共同生活を前提として成り立っている社会が昔は存在していた、という事実は、現代の孤立した個人の集合にすぎぬ社会の袋小路を脱出するのに、なにがしかの手がかりを与えるのではなかろうか。

（注）自己検束――自己を抑制すること。
フォクロア――民間伝承。民俗学。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問１　空欄 X に入る最も適当なものを次の中から選びなさい。
①　自己表現をあまりにも言葉に頼り過ぎている
②　自分の感情を表現するのが苦手になっている
③　人前では泣く行為を隠そうとする傾向にある
④　他人が泣くことに対し関心が薄くなっている

問２　空欄 Y に入る最も適当なものを次の中から選びなさい。
①　忍び泣きの歴史とを考察している　②　忍び泣きとの違いを否定している
③　忍び泣きとをはっきり区別している　④　忍び泣きの事例と混同している

問３　傍線部甲の「人は是によりて互ひに心丈夫になり」とは、どのようなことをいっているのか。その解釈として最も適当なものを次の中から選びなさい。
①　人々が一緒に食事をして絆を強めること。　②　人々が社交的になって陽気になること。
③　人々が素朴な生活に満足を見出すこと。　④　人々の疾病が治って元気を取り戻すこと。

問４　空欄 Z に入る最も適当なものを次の中から選びなさい。
①　学問領域の対象外　②　美徳としての昔話
③　身体的な自己の表現　④　他人との交流の手段

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問５　本文の趣旨として最も適当なものを次の中から選びなさい。

①　柳田国男は今日では珍しくなった行為や慣習のなかにも、日本人の再発見につながるようなヒントはあると考えている。

②　柳田国男は今日では珍しくなった行為や慣習のなかには、日本人が失ってはならない美徳があると考えている。

③　柳田国男は過去の日本人の社会生活のなかで忘れ去られたものは、歴史に記録しておかねばならないと考えている。

④　柳田国男は過去の日本人の社会生活のなかで忘れ去られたものは、現代でもやはり評価する必要はないと考えている。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第九講　知識モノ解説

文学史・人物解説

●柳田国男については第一講を参照のこと

●近松門左衛門＝ちかまつ　もんざえもん（一六五三〜一七二五　※一七二四年という説もあり）↓浄瑠璃の劇作家。
代表作に『曽根崎心中』『心中天の網島』『冥途の飛脚』『女殺油地獄』『国性爺合戦』などがある。
近松へのインタビューとして穂積以貫『難波土産』があり、このなかで「虚実の皮膜」の話がでてくる。

●竹本義太夫＝たけもと　ぎだゆう（一六五一〜一七一四）↓浄瑠璃語り・義太夫節の創始者。

語句

寂寥＝せきりょう↓心が満たされずわびしいこと　類義語に「寂寞＝せきばく（じゃくまく）」

浄瑠璃＝じょうるり↓日本の伝統的な「語り」の音曲で、江戸時代には三味線を伴奏として人形芝居と結びつき、人形浄瑠璃となって流行した。

義太夫＝ぎだゆう↓浄瑠璃の流派の一つ。「義太夫節」ともいう。太棹の三味線を伴奏にした力強い語りを特徴とする。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第九講

次の傍線部にあたる漢字を、次の各選択肢から選びなさい。

（ア）注意とケイコクを発する　①国　②酷　③告　④鵠　⑤哭

（イ）三途の川の此岸とヒガン　①秘　②彼　③飛　④誹　⑤火

（ウ）結論としてキチャクする　①帰　②機　③貴　④揮　⑤来

（エ）無理をしたヘイガイが出る　①幣　②弊　③丙　④併　⑤塀

（オ）偉大なゴウケツが居並ぶ　①剛　②轟　③業　④傲　⑤豪

（カ）ユウシキ人による提案を聞く　①雄　②有　③裕　④宥　⑤勇

（キ）ヘイゼイの人との親交を語る　①生　②贅　③勢　④性　⑤世

（ク）シッペイ予防に心がける　①弊　②屏　③丙　④病　⑤平

（ケ）学問上のシンエンな問い　①遠　②艶　③園　④縁　⑤宴

（コ）自分を縛るケンソクがある　①側　②即　③塞　④束　⑤則

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第九講　民俗学

《本文の対比構造》

主役

柳田国男の民俗学・かつての社会

＝声を出して泣くこと（慟哭）も食事を分かちあうことも共同体内のコミュニケーションだった

＝孤立した個人の集合にすぎぬ社会から脱出する手がかり

主な対比

敵役

現代＝泣くことが少なくなった時代・孤立の生活の不安・寂寥・孤立した個人の集合にすぎぬ社会

小さな対比

脇役

すすり泣く・声を出さずに泣く

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

《解説》

問１《空欄補充・選択肢》

現代人、とくに「今日の有識人」が陥っている状況を答える問です。すなわち、「泣くということが一種の表現手段であった」かつてとの対比です。したがって①の「表現を言葉に頼り過ぎる」と類推可能です。②は「苦手」としていますが、本文は泣くことをめぐり「上手⟷苦手・下手」ということを比べていません。そもそも現代は泣くことを抑圧しているのですから。したがって正しい対比喪失の誤りです。③は「人前」が×です。「公衆の面前⟷私的空間」というような対比はありませんね。これも正しい対比喪失の誤りです。④は「他人」が×です。他人であれ自分であれ、泣くことへの抑圧があるのが現代なのです。「他人⟷自分」という変な対比をもちこんでいます。したがってこれも正しい対比喪失の誤りです。

問２《空欄補充・選択肢》

慟哭、かなしみの声をあげるという伝統的習慣との小さな対比を問うています。声をあげないすすり泣きとは区別しなければなりませんね。したがって、③が正答です。①は「忍び泣き」の研究を主役であるかのようにしています。これは対比混乱の誤り。考察対象は慟哭の方です。②も④ももちろん対比混乱の誤りですね。こういう「〇〇の誤り」という用語を使って考えると、間違いの選択肢がどのようにして作られているのかわかりますよね。

問３《傍線部説明・選択肢》

モノモライが近隣住人との「不可分の連鎖」を作る「社交」であることの言い換えです。「孤立の生活」の不安との対比でもあります。したがって①が正解。「連鎖」を「絆」と言い換えています。②は「陽気」が×。社交だから「イエイ、レッツ・パーティー！」と勘違いした文脈喪失です。③は「素朴な」が×です。本文は「素朴・質素⟷豪華絢爛（けんらん）・華美」という対比ではないからです。正しい対比喪失の誤りですね。④は「疾病が治って」が誤りです。〝隣の晩御飯〟にそのような薬理効果があるわけではありません。本文にあるとおり、できもの自体は軽微なものなのです。清潔にしていれば治ります。記述に反する誤りといっても、物理的スリカエといってもよいでしょう。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問４《空欄補充・選択肢》

泣くことも食べ物を他人からもらうことも、「一種の交通方法」「一種の表現手段」「人間の社交」ですから④が正解です。またそうしたことを研究することが「民俗学・フォクロア」という学問の仕事です。ゆえに①は記述に反する誤りです。さらに民俗学は民衆文化の事実を語っているわけですから「美徳」を語るための「昔話」ではありません。②も記述に反する誤りです。③はあたかも泣くことや食べ物をもらうことが、自己アピールのパフォーマンスであるかのようです。他者との共同体感情をつくることがたいせつなわけですから、これは記述に反する誤りです。

問５《主題理解・選択肢》

現代日本人が忘れたものでも、モノモライのような表現に残っていて、その意味を伝統的な生活の中から発見し語れる学問が民俗学です。したがって①が正解です。②は「失ってはならない美徳」が不当な当為判断であり、また記述に反する誤りです。事実としてあったのですから。③は「歴史に記録」が×です。歴史学ではなく民俗学の仕事ですよ。さらに現代の袋小路を脱出する手がかりとまで本文にはあるのですから、記録しておしまいではありません。記述に反する誤りです。すると④「現代〜評価する必要はない」は、あきれかえってでんぐりがえります。記述に反する誤りです。

模範解答

問１＝①　問２＝③　問３＝①　問４＝④　問５＝①

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題解答　第九講

（ア）③　（イ）②　（ウ）①　（エ）②　（オ）⑤
（カ）②　（キ）①　（ク）④　（ケ）①　（コ）④

解答漢字一覧

（ア）警告　（イ）彼岸　（ウ）帰着　（エ）弊害　（オ）豪傑
（カ）有識　（キ）平生　（ク）疾病　（ケ）深遠　（カ）検束

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。